

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP World Supersport Round 6 Acerbis Spanish Round Race Report

アクシデントを克服し、予選6番手を獲得した大久保光 再びセカンドローより初の表彰台を目指し戦う

スーパーバイク世界選手権 (WorldSBK) Round 6 Acerbis Spanish Roundがスペインの Circuito de Jerez - Angel Nietoで開幕した。今大会は天候に恵まれ、激しいバトルが想像される。

前大会では、自身ベストリザルト4位でフィニッシュを決めた大久保。これまでの好調な流れを維持し、今大会こそ表彰台を獲得したい。初日のFP1よりシングルポジションをキープし1'43.603で8番手、FP2は1'43.201で5番手、二日目FP3は1'42.947で3番手と着実にタイムを縮め、Superpoleに向けて万全の体制でマシンと自身のコンディションを仕上げた。

迎えたWorldSSP Superpole、気温25度・路面温度39度の中、現地時間11時40分にスタート。そして開始早々アクシデントが大久保を襲う。アウトラップのTURN 6でフロントが切れ込み、まさかの転倒。ダメージを負ったマシンをピットに戻し、すぐさま修復にかかる。残り15分の所でコースにマシンを戻し、大久保のチャレンジが始まる。Superpole残り10分、大久保は1'42.932を計測し、5番手タイムを計測。再度ピットにマシンを戻しタイムアップを図るべくマシンをアジャスト。残り3分の所で再度コースインし、タイム更新を目指し果敢にトラックを攻める。結果1'42.932がベストタイムとなり、予選6番手、チームメイトに続くkawasaki勢2番手となり、明日の決勝はセカンドローより表彰台を目指す事となった。

■大久保 光 ・予選結果 6番手 /タイム 1分42秒932

「今回のSuperpoleは序盤より攻めすぎて、早々に転倒してしまいました。残念ながらマシンにダメージがあり、すぐさまピットに戻りマシンを修復しないといけなくなりましたが、幸いメカニックのお陰で直ぐにコースに復帰する事が出来ました。私自身の調子は良く、結果自己ベストの42秒9が出せたのは良かったと思います。しかし、転倒してしまったのは自分のミスなので、しっかり反省します。

今日の朝のフリーでは、ガソリンをフル満タンにして中古タイヤを使った状態でも42秒台が出せているので、決勝に向けては本当に良い方向で一日を終える事が出来ました。チームメイトに負けた事は、本当に悔しいのですが、今日は今日、明日は明日で気持ちを切り替えて表彰台を目指して頑張ります。

皆様、引き続き応援宜しくお願い致します。」



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>



Kawasaki Puccetti Racing



PuccettiRacing



puccettiracing

Hikari Okubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>



hikariokubo78



hikari_No78



hikariokubo78